平令和２年　２月２１日　第５１号　白河市立大信中学校

学校だより

三年先の稽古

発行：校長　益子　朗

学校教育目標（２）

た　たくましく健やかな生徒
い　いのちを尊ぶ温かな生徒
しん　真実と夢を追求する生徒

今年度最後の
授業参観・学年保護者懇談会

去る２月20日(木)、今年度最後となる授業参観と学年保護者懇談会が行われました。ご来校いただいた保護者の皆さん、有り難うございました。

３年生は中学校最後の授業参観。入学直後の授業の様子と比べて、その変貌した姿には感概深いものがあったのではないでしょうか。また２年生や１年生も、その学年にふさわしい姿になり、さらに４月の進級に向けてより一層の成長が期待される様子を見ていただくことができたでしょうか。

今年度は創立五十一周年。次の半世紀へのスタートの年と位置づけて始まりました。中体連の各大会、多くの県内の先生方が視察に訪れた授業公開（防災学習の全校集会）などを機会に、重要な場面で大切な時ほど自分の最高の力を出し切れる、**「現場力・本番力」**を身につけさせることを大きなテーマとして取り組んできました。まだまだ十分とは言えませんが、生徒の皆さんの成長ぶりには手応えを感じております。

一方、学力や体力の向上は、正直なところ、まだまだ私たちの努力不足で、胸を張れる状態ではありません。

来年度に向けての課題は、なんと言っても学力の向上です。学校の授業と家庭学習とのサイクルを軸に学力向上を図っていきます。それと共に、積極的に運動に取り組む機会を増やし体力の向上にも力を入れていきたいと考えております。来年度も保護者の皆様のご支援とご協力をお願い致します。

大信地域合同学校運営協議会

保幼小中

去る２月18日(火)、大信中学校で、大信地域合同学校運営協議会が開催されました。

昨年度から大信地域では、学校運営協議会を保育園・幼稚園・すべての小学校・中学校合同で、年に２回、開催しています。

近い将来、３つの小学校が統合される見通しであり、地域内の各園各校の相互理解・相互交流は欠かせません。

大信中としては、保育園・幼稚園・小学校で育てていただいた子ども達が、どう成長しているのかをお見せする機会でもあり、参観後のご意見・ご感想を今後の教育活動に活かして行きたいと思います。

表彰おめでとう

☆福島県書きぞめ展　特選

佐藤江茉　塩田心
塩田ひかり　吉田優菜
佐藤由萌　十文字杏莉
佐久間莉那　室井優菜
北野萌果　齊須萌愛
近内芽生　鈴木萌加

金賞41名、銀賞55名

☆芭蕉白河の関俳句賞
ジュニアの部　奨励賞
円谷琉希　吉田美優

☆中山義秀記念作文
コンクール　優秀賞
朝倉澪音(写真↓)

十文字しずく
円谷透真
藤島美優
円谷琉希
鈴木優奈

中山義秀の故郷
－日籠の里－

校長のぼやき

いや…つぶやき

日本プロ野球史上で最も偉大な捕手であり、屈指の名監督でもある、野村克也さんが先日亡くなりました。

私は少年時代、野村さんのライバルである巨人軍の王貞治選手のファンでしたが、野村さんは選手として、監督として、それぞれ輝かしい実績を残し、また野球界の常識を塗り替えるような、優れた戦術や理論を次々に生み出した方として尊敬しています。

数々の名言を残した方ですが、

「勝ちに不思議の勝ちあり
負けに不思議の負けなし」

という言葉が特に印象に残ります。

勝負事では、時には運に恵まれたり相手のミスに助けられて勝利することはあっても、敗れた場合には必ず自らに何らかの原因があり、それを「不運」などと片付けていてはそれ以上強くなれません。つまり、勝ち負けはほぼ敗者側に原因があるという戒めです。

人間には、ともすれば失敗の原因を不運や自分以外の他者に求めてしまう弱さがあります。たとえ多少は不運があったにしても、自らの敗因を素直に認め、そこを強化・改善していかなければ、次の勝利や成功はつかめないでしょう。

また、野村監督の部下に対する厳しさと優しさも、人を育てる立場として、大いに見倣うべきものがあります。

心からご冥福をお祈りします。